

講義名	日本経済論			授業形態	
担当教員	亀井 大樹	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

**主題と概要**

今日我々は多くの難しい課題に直面しているといえます。例えば、資源問題、少子高齢化、人手不足、環境問題などを例挙げれば切りがありません。ではなぜこういった課題は発生したのでしょうか？難しい課題は昨日今日に持ち上がったわけではなく、実は過去からの積み重なった課題でもあるのです。そこで本講義は戦後の日本経済の歩みを振り返りながら、現在直面している課題を歴史に照らしながら考えます。

**到達目標**

- 【第1段階】 意欲・態度に関する目標
  - 目標1 今日我々はどのような課題に直面しているのか気づく。
  - 目標2 直面している課題は過去からの蓄積の上にあるということを確認する。
- 【第2段階】 知識に関する目標
  - 目標3 高校日本史探究や歴史総合の教科書をつかひながら、戦後日本のあゆみを説明できるようにする。
  - 目標4 初級程度の日本経済論や日本経済史の大学テキストをつかひながら、戦後日本経済のそれぞれ時代特徴を説明できるようになる。
- 【第3段階】 表現に関する目標
  - 目標5 この授業終了時には現代の課題に対して歴史を踏まえながら自分なりの考えをもつようになる。

**提出課題**

- 【毎回課題】
  - ・毎回の授業後にその日の授業内容を簡単に振り返りと感想・質問・不明点をレスポンドで回答します。
  - ・詳細は毎回授業で説明します。
- 【中間試験】
  - ・学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
  - ・持ち込みは「全て可」で検討しています。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

- 【毎回課題】
  - ・レスポンドで提出した課題の感想、質問、不明点は翌週以降の授業で回答します（ただし回答数が多い場合には代表的な質問・不明点のみを取り上げ回答します）。
  - ・課題の回答はクラスの皆さんとシェアします。シェアを前提に回答してください。
- 【中間試験】
  - ・中間試験を行った場合には翌週以降に講評をおこないます。

**評価の基準**

- 【平常点】 20%
  - ・授業への参加度（受講態度）および毎回課題での質問や感想内容で評価します。
  - ・授業受けずには課題を提出した場合はカンニング行為とし、平常点を0とします。
  - ・私語や他の受講生の迷惑になるような行為は厳に禁んでください。
  - ・授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に+ を付与することがあります。
- 【中間試験】 40%
  - ・学期半ばで中間試験を行います。いつやるかは事前にアナウンスします。
- 【学期末定期試験】 40%
  - ・試験期間中に学期末定期試験を行います。
  - ・学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。
  - ・持ち込みは「可」、電子機器類は「持込不可」です。
- 【加点課題】 最大20%
  - ・加点課題を設定することがあります。
  - ・任意課題ですので、意欲のある人のみ提出することができます。
  - ・成績評価は平常点、中間試験、定期試験、加点課題を中心に総合的に勘案して行います。
  - ・学期末定期試験の受験だけで成績評価はしません。
  - ・成績評価の方法（加点課題等）は初回の授業で説明します。必ず出席してください。
  - ・提出期限を守れない場合は未提出扱いとなります。提出期限の延長はいかなる要望にも応じません。

**履修にあたっての注意・助言他**

- 【受講のルール】
  - ・食事（ガムも含む）は厳禁です（水分補給のための飲み物は認めます）。
  - ・受講中のスマートフォン等の着用は厳禁です（ただし聴音等に障害がある場合は認めます。事前に申し出てください）。
  - ・他の受講生に迷惑がかかるので、講義中の私語は厳禁です。
  - ・ワンツウパーで私語による苦情があれば、受講から予告なしに座席指定を行うことがあります。
  - ・逆に授業中に私語がない場合、授業協力点として、全員に+ を付与することがあります。
  - ・他の受講生に迷惑がかかるので、授業中に携帯電話やスマホの着信音やチャッダー音を鳴らさないようにしてください。
  - ・スマートフォンで静止画撮影するのは認めますが、その場合、マナーカメラ等のアプリを使用してください。
  - ・動画撮影は認めません。
  - ・障病のある学生がいれば申し出てください。
  - ・体調不良で欠席した場合は医療機関の診断書を提出してください。
  - ・志引・公式試合・就職試験・教育実習等で欠席した場合には証明書を提出してください。

**教科書**

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

**参考文献**

.テキスト現代日本経済史.	中村宗悦	学文社	3190	97847620283
.現代日本経済.	橋本寿朗、長谷川信、宮島英昭、戸藤直	有斐閣アルマ	3080	978464122121
.日本経済論 [第2版].	櫻井宏二郎	日本評論社	2970	978453554075

**その他**

- 【配布資料】
  - ・配布資料は授業時に適宜配布します。また必要に応じてRYUKA Portalのキャンパスクロスにアップします。
  - ・【参考文献】
  - ・授業時に指示しますが、高校歴史や公民の教科書・資料集類をあげておきます。例えば以下のような文献です。
  - 日本史探究
  - 佐藤信ら編著（2023）『詳説日本史。山川出版社。ISBN 978-4-634-70121-2
  - 歴史総合
  - 久保英典、中村尚史ら編著（2022）『現代の歴史総合 みる・読みとく・考える』山川出版社。ISBN978-4-634-70112-0
  - 公共
  - 実教出版編集部編（2024）『2024 ZOOMアップ政治・経済資料』実教出版。ISBN978-4407363135

**授業計画**

- 【第1回】オリエンテーション
  - 予習内容 Webシラバスをよく読んで、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 成績評価、定期末試験について、配布プリントを読み返してください（120分）。
- 【第2回】現代の日本経済とはいかなる時代なのか？
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、GDPの定義を復習しておく（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、戦後日本経済のあゆみを経済成長率の推移に即して、ノートなどにまとめておく（120分）。
- 【第3回】日本は戦戦後どのように復興したのだろうか？
  - 予習内容 終戦直後の時代背景をネットなどをつかひながら、ノートなどにまとめておく（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、重要な歴史的な用語をノートなどにまとめておく（120分）。
- 【第4回】日本は国際社会にどのようにして国際社会に復帰したのだろうか？
  - 予習内容 なぜインフレーションがおこるのか、ネットなどをつかひながら、ノートなどにまとめておく（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、重要な歴史的な用語をノートなどにまとめておく（120分）。
- 【第5回】財閥から企業集団へへのによる名義政策
  - 予習内容 財閥とはなにか、ネットなどをつかひながら、イメージをいただいて講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、財閥解体から企業集団の形成のながれを、説明できるようにしておく（120分）。
- 【第6回】高度経済成長とはいかなる時代か？政治の季節から経済の季節へ
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、高度経済成長以前の日本の農村のあり方を調べて、ノートなどにまとめておく（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、重要な歴史的な用語をノートなどにまとめておく（120分）。
- 【第7回】中小企業に対する自分なりのイメージをノートなどにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 予習内容 中小企業に対する自分なりのイメージをノートなどにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、重要な用語をノートなどに整理しておいてください（120分）。
- 【第8回】中期のまとめ
  - 予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようになってください（120分）。
- 【第9回】ネットなどをつかひながら、戦後世界経済のあゆみをノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、戦後世界経済のあゆみをノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 授業で紹介したふたつのショックをネットなどをつかひ、ノートなどにまとめておいてください（120分）。
- 【第10回】ふたつのショックは日本経済と企業経営に与える変化をもたらしたのか？
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、戦後の国際情勢をノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、重要な用語をノートなどに整理しておいてください（120分）。
- 【第11回】財政再建は始める
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、財政の役割と機能についてノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 授業で紹介した国債民衆化について、ネットなどをつかひノートなどにまとめておいてください（120分）。
- 【第12回】ラオス企業からパルパ企業へ
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、ネットなどをつかひながら「新自由主義政策」とはなにか、ノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、重要な用語をノートなどに整理しておいてください（120分）。
- 【第13回】バブル崩壊後の失われた30年へ
  - 予習内容 ネットなどをつかひながら、1980年代末から90年代はじめにかけての東西冷戦終結のながれを、ノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、授業で紹介した当時の政治状況と経済状況をノートなどにまとめておいてください（120分）。
- 【第14回】新東海道？
  - 予習内容 国土交通、経済、国際関係上で課題となっている点をノートにまとめて、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 配布プリントをつかひながら、自分なりの考えをノートなどにまとめておいてください（120分）。
- 【第15回】全体のまとめ
  - 予習内容 これまで配ったプリントを揃えて、到達目標を一覧化して、講義に臨んで下さい（120分）。
  - 復習内容 これまで授業で紹介した到達目標を達成できるようになってください（120分）。
- 【学期末定期試験】
  - ・リッカラー（レスポンド）をつかひます。
  - ・なお授業テーマについては、学生の理解状況にあわせて、変更・割愛される場合があります。

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本講義を受講することで、「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、「（2）知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」と「（3）創造力（新しい視点と新たな発想）を持った人材」に寄与することができるようになります。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

毎回課題の回収はレスポンドで行います。スマホ、タブレット、パソコン等の電子機器類を持参してください。

**実務経験の有無及び活用**

なし。

**備考**

特ありません。